

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	開設以来の理念は職員の入れ替わりがある中でもしっかりと引き継ぎ、共有してきた。平成26年度は管理者が新任し、業務を見直す機会にもなっている。理念についても職員全体で振り返り、理念の実践につなげていくことを期待したい。	今の理念を見直し、新しい理念を作成する。	今ある理念について職員が中心となり現状を話し合う。管理者を含む、職員体制が定着した平成27年度をホームにおけるケア理念の見直しの機会と考え、現在の職員全員で考えた新しい理念を作成する。	12ヶ月
2	40(15)	食事中は会話も弾み楽しい雰囲気であったが、服薬や見守りなどの際の職員の動きがやや慌ただしく、急かされているような印象であった。食事を利用者と一緒に味わうことの意味を再度職員全体で話し合い、より一層食事を楽しめる環境づくりに取り組むことを期待したい。	食事の場では和やかな雰囲気を大切にする。	ご入居者の食事中、職員は介助や見守り一辺倒ではなく、その場の雰囲気やゆっくと流れる時間を大切にできるように配慮する。服薬についても個々のペースに合わせて自然に介助できるようにする。	6ヶ月
3	34(12-2)	緊急時の対応マニュアルは事象ごとに分けて作られ実践に近いものとなっている。マニュアルは整備されているものの、回覧だけにどまっているため、マニュアルに即した実技の研修を行い、実践力をさらに高めていくことを期待したい。	急変時や事故発生時の具体的な対応方法について職員全員が周知する。	緊急時の対応等が学べる研修の機会を設ける。緊急時のマニュアルをより具体的なものに作成し直す。また、フローチャートを常に見えるところに掲示しておく事で、職員が対応方法を常に把握できるような環境を整備する。	12ヶ月
4					ヶ月